

一般社団法人 日本保健医療社会福祉学会 第36回大会プログラム

大会テーマ

A I 時代にあって 人のありようを根源からみつめる
— これからのソーシャルワークを見据えて —

日 時 : 2026年9月5日(土)・6日(日)

会 場 : 同志社大学今出川キャンパス良心館2階

同時オンライン配信

大会日程

9月5日(土)

12:00 受付

13:00 開会挨拶

RY203

日本保健医療社会福祉学会会長 熊谷 忠和 (日本医療大学)

13:15～14:45 基調講演

RY203

『『私たちいきものの中の私』として生きる—生命誌からの提案—』

講演者 中村 桂子 (JT生命誌研究館名誉館長 理学博士)

座 長 橘高 通泰 (兵庫医科大学名誉教授)

15:00～17:00 シンポジウム

RY203

「AIとともに生きる時代の支援のゆくえ—何が翻訳され、何が失われるのか」

シンポジスト

川原 繁人 (慶応義塾大学言語文化研究所教授)

伊藤 秀隆 (愛媛県立中央病院 医療情報部)

野田 智子 (JA愛知厚生連 江南厚生病院 地域連携部患者支援室)

座 長 野村 裕美 (同志社大学)

18:00～20:00 情報交換会 於：アマーク・ド・パラディ寒梅館 (別途参加申込が必要です)

9月6日(日)

8:45 受付・開場

9:15~11:30 自由研究報告

第1分科会	座長	伊藤 隆博 (神戸学院大学)	RY203
1. 石綿被害建設業従事者の労災保険制度の申請を妨げる制度間連携の課題 —ソーシャルワーク実践における介入プロセスの検討—		○福神 大樹 (兵庫医科大学)	
2. 介護人材不足の構造的特徴に関する分析 —介護労働実態調査を用いて—		○星野 まり (文京学院大学)	
3. 精神障害の親と暮らす子どものケア選択をめぐる制度的課題の検討		○木村 友紀 (大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科社会福祉学分野博士後期課程)	
4. 療養・就労両立支援指導料の算定に向けての実践報告		○岩國 芽衣 (箕面市立病院)	
5. 日本における高齢者支援分野のA I・I C T活用研究の動向 —ソーシャルワーク実践への示唆—		○叶 寧 (身延山大学)	
6. ソーシャルワーク実践におけるA I活用の現状と課題 —ソーシャルワーカーの語りから考える—		○山口 麻衣 (ルーテル学院大学)	

第2分科会	座長	竹中 麻由美 (川崎医療福祉大学)	RY206
1. 地域包括医療病棟における入院患者の特徴とソーシャルワーク支援内容の関連性 —A病院のI C Fサマリーを活用した混合研究法による考察—		○榊原 次郎 (名寄市立大学)	
2. ソーシャルワーカーのグループスーパービジョンにおけるスーパーバイザーによる 場づくりのスキル —スーパーバイザーの言語化促進に向けて—		○石川 慶子 (東京労災病院)	
3. スーパービジョン及び事例検討会における機密情報や個人情報の取扱いについて —ガイドラインから見る現状とあり方の検討		○村尾 直也 (久留米大学)	
4. 援助関係の相互性に関する検討 メンタライゼーションという“想う”力を視座にして		○小山 愛加 (同志社大学大学院 社会学研究科社会福祉学専攻博士課程)	
5. ソーシャルワークにおける「ともに在る」ことの実存的意味についての一考察 —「ともにする」実践の循環を通して—		○山本 啓太 (国立国府台医療センター)	

1. 倫理的ジレンマの肯定的捉え方の可能性
—精神科病院におけるアドボカシー実践に焦点を当てて—
○平山 司（同志社大学大学院 社会学研究科社会福祉学専攻前期課程/
第二北山病院）
2. 医療ソーシャルワーカーの支援による「納得感」はどのように形成されるのか
—当事者による支援の意味づけ過程に着目して—
○杉浦 裕子（岡崎市民病院）
3. ソーシャルワーク・アセスメントをどのように捉えているか
—一般急性期病院におけるアセスメント研修の効果と課題—
○塩田 哲也（東海大学医学部附属病院）
4. 「ない」から「つくる」へ ～医療ソーシャルワークにおける社会資源創造の実践～
○岡山 菜美（榊原記念病院）
5. 外国人患者支援における課題と必要な支援
○菱ヶ江 恵子（山口県立大学）

11:45～12:45 総会

RY206

(12:45～13:30 休憩)

13:30～15:30 事例部会

RY203

「この人のことがわからないけど、わかりたい」

—外来で10年間関わり続けた事例—

事例提供 葛田 衣重 （千葉大学医学部附属病院 感染制御部）
座 長 宮崎 清恵 （神戸学院大学 名誉教授）

15:30 閉会挨拶

16:30～19:00 救急認定ソーシャルワーカー認定機構第10回アドバンス研修

RY207

*救急認定ソーシャルワーカー認定機構HPから別途お申し込みが必要です。ご確認ください。

「家族造形法ワークショップ—救急医療現場でソーシャルワーカーが直面する場面を用いて
当事者や家族の声を聴く—」

進 行 浅野 正友輝 （トヨタ記念病院）
講 師 早樫 一男 （山城こども家庭センターだいわ）
事例提供 瀬口 理恵 （国立病院機構名古屋医療センター）